相川小学校 学校だより

第９号　１月25日発行
【家庭数配付】

各地区で行われた小正月行事に，延べ１２２名の児童が参加させていただきました。地域の皆様とふれ合いながら，地域に伝わる伝統行事を体験することができたようです。地域の皆様，保護者の皆様に感謝いたします。感染症のため実施を見合わせた地区もあったようです。新しい１年。学校もできることを，できる形で行っていきます。

新しい1年の始まりです

新しい１年の始まりです。小学校では，３学期が始まりました。５０日程度の短い３学期ですが，今の学年を仕上げる大切な期間です。１日１日を大切に過ごし，新しい学年への準備を整えます。

書きぞめ大会に挑戦

１月１１日からの３日間，全校で書きぞめ大会に取り組みました。１・２年生は鉛筆で，３年生以上は毛筆で書きぞめに挑戦しました。校舎内に静かな時間が流れました。練習した字だけではなく，みんなの心も清らかになる三日間でした。

小正月まゆ玉づくり

１月１３日，３年生の児童が食生活改善推進委員会の皆様にご指導いただき，まゆ玉づくりを体験しました。まゆ玉の由来や，作り方を丁寧に教えていただきました。まゆ玉づくりを体験して，各地区で行われる小正月行事を身近に感じることができまし

子どもBOUSAI教育こうふ

１月１７日，甲府地域防災課の皆様にご来校いただき，５年生を対象とした防災教室が開催されました。担架の使い方や，避難所で使われるトイレを見学したり，避難食について学習したりしました。防災を身近な問題として考えることができました。

ポストコロナを考える

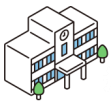
目の前の子供たちを大切にした学校教育を

新型コロナウイルス感染症の収束後に向けて，社会全体が準備を始めています。

相川小学校も，この３年間，感染症対策に取り組んできました。大変な３年間でしたが，学校教育を見直す良い機会を得たとも感じています。目の前にいる子供たちにとって何が必要なのか，何が大切なのかをしっかりと見極め，今後の学校教育を考えていきます。

学習内容増加への対応

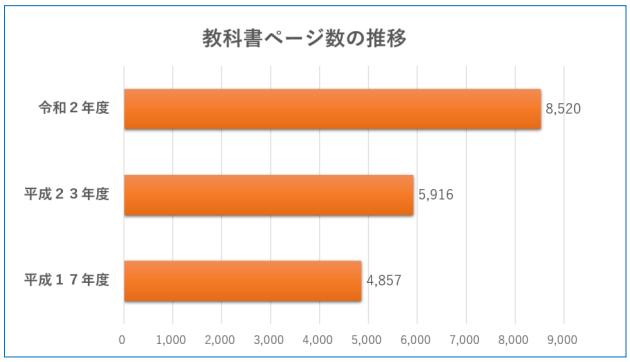
コロナ禍の最中だったので目立ちませんでしたが，小学校では令和２年度に，新学習指導要領が全面実施され，学習する内容が大きく変わりました。学習の「量」を数値で表すのは難しいことですが，教科書のページ数を比較してい見ると，児童が学習しなければいけない内容が大幅に増えていることが実感できます。一般社団法人教科書協会の資料によりますと，前回の学習指導要領改訂時の６年生教科書の総ページ数平均は5,916ページでした。現在の総ページ数平均は8,520ページです。約44％増加しています。教科書の内容を全て学習するわけではありませんが，学習内容が増えていることが確かですし，教員もそれを実感しています。学習の時間を確保するために，以前のように様々な行事に取り組む余裕はなくなってきています。



最適な学校教育を

教科の学習だけで，児童の豊かな成長を期待することはできません。運動会，修学旅行や林間学校，社会科見学や自然観察学習等により児童が大きな成長を遂げています。これからも，これらの行事を大切にしていきたいと考えています。

現在の学習指導要領に示された学習内容に取り組ませるためには，十分な授業時間を確保しなければなりません。コロナに対応している間に，学習内容は大きく増加しています。コロナ後は，コロナ前の学校教育をそのまま復活させるのではなく，現状を理解し，何が必要なのかを考え，適切な時間配分を計画していかなければなりません。限られた時間の中で，十分な授業時数を確保し，豊かな経験の機会を保障できるよう，相川小学校の学校教育を見直して参ります。



花壇にフェンスがつきました

相川小学校西館南側に花壇があります。日当たりが良い場所で，植物が元気に育ちます。しかし，その南側は，１５０ｃｍほどの段差があり，下はコンクリートで固められています。児童が落下しては困るので，ここにフェンスを取り付けていただきました。今後，学習活動に活用していきたいと思います。